

(学校番号062) 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【片柳小学校】

| ① 目標・策 | | |
|---------------|---|--|
| | 目標 | 策 |
| 知識・技能 | R4年度全国学習状況調査及び、市学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「知識・技能」において2pt向上させる。 | ⇒ ・タブレットパソコンを活用した、基礎学力定着プログラム(ドリルパーク・スタディサプリ)を授業や宿題等で実施する。(国語・算数) |
| 思考・判断・表現 | R4年度全国学習状況調査及び、市学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「思考・判断・表現」において2pt向上させる。 | ⇒ ・児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。 ・学年において、発達段階に応じた「書く」課題を設定する。 ・アプリを活用して児童の思考の過程が、見えるようにすることにより、つまづきや課題を整理し、指導の改善に役立て、個別最適化の学習につなげていく。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | R4年度全国学習状況調査及び、さいたま市学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。 | ⇒ ・授業の中で児童とともに課題を設定し、解決の動機付けを行い、自力解決する場を設定する。 ・「アプリ」を活用して児童の思考の過程が、見えるようにすることにより、つまづきや課題を整理し、指導の改善に役立て、個別最適化の学習につなげていく。 |

| ② 全国学力・学習状況調査結果・分析 | | |
|--------------------|---|-----------------|
| 全国学力・学習状況調査結果 | | 国語:-1.2 算数:-0.5 |
| 知識・技能 | R5年度全国学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度全国学習状況調査の自校結果と比較し、国語:+ 算数:-であった。国語は漢字の活用に課題が見られ、算数では乗法の計算、正三角形の性質、百分率と割合の問題に課題があった。 | |
| 思考・判断・表現 | R5年度全国学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度全国学習状況調査の自校結果と比較し、国語:+ 算数:+であった。自分の考えをまとめる問題や聞きたいことを中心に課題が見られ、算数では底辺と面積の関係を記述する問題に課題があった。 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答は全国平均を上回る結果が見られた。「学習した内容や、分かった点、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目においても、肯定的な回答は全国平均を上回っていた。この結果を維持できるよう、より一層授業改善に努めていく。 | |

| ③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後) | | |
|----------------------------|----|---|
| | 目標 | 策 |
| 知識・技能 | なし | ⇒ |
| 思考・判断・表現 | なし | ⇒ |
| 主体的に学習に取り組む態度 | なし | ⇒ |

| ④ さいたま市学習状況調査結果・分析 | | | |
|--------------------|--|----|---|
| 小3 | R5年度さいたま市学習状況調査において、R4年度調査より、国語+pt、算数-ptだった。国語は書くことが市平均を上回り言葉の特徴や使い方に課題がみられた。算数は変化と関係やデータの活用が市平均で数と計算と図形に課題がみられた。 | 小4 | R5年度さいたま市学習状況調査において、R4年度調査より、国語-pt、算数-ptだった。国語は書くことが市平均を上回り言葉の特徴や使い方と話すこと・聞くことに課題がみられた。算数は測定が市平均で数と計算やデータの活用に課題がみられた。 |
| 小5 | R5年度さいたま市学習状況調査において、R4年度調査より、国語+pt、算数+ptだった。国語は言葉の特徴や使い方と書くことが市平均を上回り話すこと・聞くことや読むことに課題がみられた。算数は図形や変化と関係で市平均を上回り数と計算に課題がみられた。 | 小6 | R5年度さいたま市学習状況調査において、R4年度調査より、国語+pt、算数+ptだった。国語は書くことが市平均を上回り話すこと・聞くことや読むことに課題がみられた。算数は測定が市平均で変化と関係に課題がみられた。 |

| ⑤ 目標・策の達成状況 | | 評価(※) |
|---------------|--|-------|
| 知識・技能 | R5年度さいたま市学習状況調査の「知識・理解」において、R4年度さいたま市学習状況調査と比較し、国語+pt 算数+ptであった。 | |
| 思考・判断・表現 | R5年度さいたま市学習状況調査の「知識・理解」において、R4年度さいたま市学習状況調査と比較し、国語+pt 算数-ptであった。 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | R5年度さいたま市学習状況調査で「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目において、肯定的な割合は%であり、目標を達成することはできなかった。しかし、「これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目に置いて、肯定的な割合は%で目標を達成することができた。 | |

| ⑥ 次年度への課題と改善策 | |
|---------------|---|
| 知識・技能 | 国語においては言葉の特徴や使い方に関する事項について課題が認められた。算数においては数と計算について課題が認められた。全体としては学校として取り組んでいる「基礎基本の時間」の活用や、ミライシードのドリルパークやスタディサプリなどの活用による、反復練習による効果も大きいと考えられる。特に、高学年への算数における基礎学力向上の方策を考えて実行していきたい。 |
| 思考・判断・表現 | 国語においては、話すこと聞くことと読むことに課題が認められた。算数においてはデータの活用に課題が見られる。しかし元年度調査より、数値の向上も見られるので、引き続きICT機器の活用もしながら改善を続けていきたい。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 「これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」の肯定的な意見が%、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。」の肯定的な意見が%と高い結果が見られた。今後も家庭と連携を図りながら、主体的に学習に取り組む態度を育てていきたい。 |

※評価
 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)